

■コメント

1. 感染性胃腸炎

定点当たり5.08人と、前週と比べてやや減少しましたが、例年同時期に比べて報告数が多くなっています。

例年、秋から冬にかけて報告数が増加しますので、注意が必要です。手洗いの励行など感染予防対策を心がけましょう。

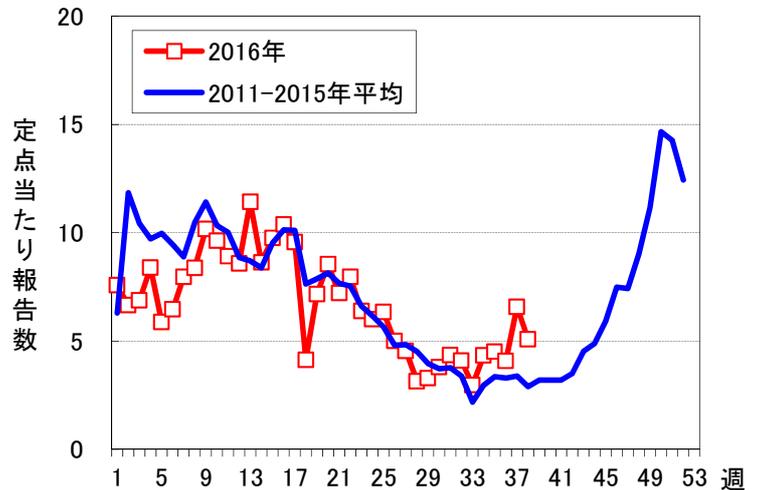
2. インフルエンザ

市内の定点医療機関から、4人(定点当たり0.11人)の報告がありました(迅速診断キット:すべてA型陽性)。流行前の予防接種、手洗い・うがいの励行、咳エチケットなどインフルエンザ対策を心がけましょう。

3. レジオネラ症

2件の報告があり、今年の累計は13件となりました。

感染性胃腸炎の流行状況



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号	急増減		前週と比較しておおむね1:2以上の増減
												↑	↓	
フィルン	インフルエンザ	4	0.11	0.03		小児科	流行性耳下腺炎	12	0.50	0.51	↘			前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減
小児科	咽頭結膜熱	4	0.17	0.26		眼科	RSウイルス感染症	23	0.96	1.24	↘			前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	30	1.25	0.85	↘			急性出血性結膜炎	-	-	0.05			ほとんど増減なし
	感染性胃腸炎	122	5.08	2.90	↘			流行性角結膜炎	3	0.38	1.23			
	水痘	10	0.42	0.63		基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-				
	手足口病	25	1.04	2.11	↘			無菌性髄膜炎	-	-	0.14			
	伝染性紅斑	2	0.08	0.22				マイコプラズマ肺炎	4	0.57	0.14			
	突発性発しん	13	0.54	0.39				クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-			
	百日咳	3	0.13	0.08				感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-			
	ヘルパンギーナ	8	0.33	0.51										

急増減 ↑ ↓

増減 ↘ ↙

微増減 ↗ ↖

横ばい ⇄

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	1	112	女性(90歳代)
4	レジオネラ症	2	13	男性(50歳代)、男性(60歳代)
5	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	4	女性(40歳代)

■ 定点把握感染症報告状況(週報対象)の推移

報告数	広島市	インフルエンザ	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	RSウイルス感染症	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	(ロタウイルス)	感染性胃腸炎	
		第34週	-	10	25	104	20	7	18	11	1	10	6	34	-	6	-	-	3	-	-	-
第35週	-	18	19	108	12	3	12	12	1	11	9	42	1	3	-	1	4	-	-	-	-	
第36週	-	13	33	98	15	5	7	13	3	7	14	28	-	9	-	-	4	-	-	-	-	
第37週	-	12	45	158	12	17	10	8	1	8	18	39	-	5	-	-	2	-	-	-	-	
第38週	4	4	30	122	10	25	2	13	3	8	12	23	-	3	-	-	4	-	-	-	-	
定点当たり	広島市	-	0.42	1.04	4.33	0.83	0.29	0.75	0.46	0.04	0.42	0.25	1.42	-	0.75	-	-	0.43	-	-	-	-
第34週	-	0.75	0.79	4.50	0.50	0.13	0.50	0.50	0.04	0.46	0.38	1.75	0.13	0.38	-	0.14	0.57	-	-	-	-	
第35週	-	0.54	1.38	4.08	0.63	0.21	0.29	0.54	0.13	0.29	0.58	1.17	-	1.13	-	-	0.57	-	-	-	-	
第36週	-	0.50	1.88	6.58	0.50	0.71	0.42	0.33	0.04	0.33	0.75	1.63	-	0.63	-	-	0.29	-	-	-	-	
第37週	0.11	0.17	1.25	5.08	0.42	1.04	0.08	0.54	0.13	0.33	0.50	0.96	-	0.38	-	-	0.57	-	-	-	-	
第38週	0.05	0.39	1.44	3.76	0.26	0.73	0.17	0.55	0.03	1.67	0.99	1.06	0.01	1.00	0.05	0.06	0.85	0.01	0.02	0.02	0.02	
全国	第36週	0.09	0.37	1.60	3.71	0.27	0.80	0.13	0.55	0.02	1.43	1.07	1.45	0.02	0.96	0.01	0.08	0.95	0.02	0.01	0.01	
第37週	0.09	0.37	1.60	3.71	0.27	0.80	0.13	0.55	0.02	1.43	1.07	1.45	0.02	0.96	0.01	0.08	0.95	0.02	0.01	0.01	0.01	

■ 新たに判明した病原体検出状況

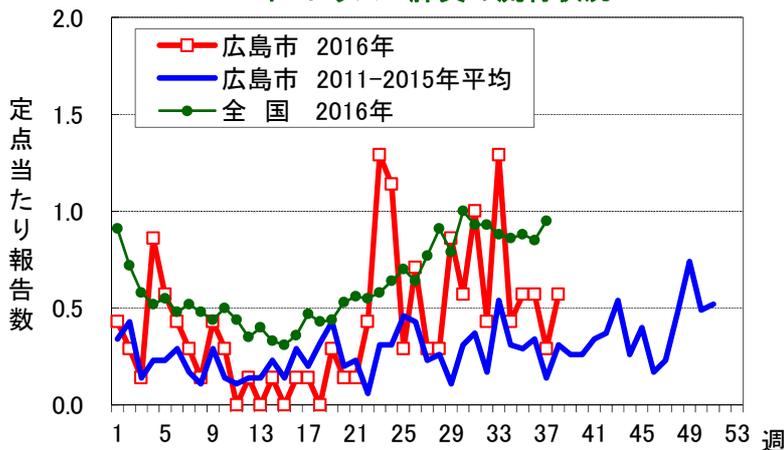
(検査: 広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
流行性角結膜炎	角結膜炎 結膜充血 流涙	22	女	2016/07/26	結膜擦過物	アデノウイルス3型
流行性角結膜炎	結膜充血 眼脂	32	男	2016/08/05	結膜擦過物	アデノウイルス3型
その他の呼吸器疾患	発熱(41.9) 気管支炎 下痢 熱性痙攣	1	男	2016/06/04	咽頭拭い液 糞便 鼻汁(拭い液)	ライノウイルス パラインフルエンザウイルス3型 アデノウイルス2型
その他の呼吸器疾患	発熱(38.6) 咽頭炎	0	女	2016/08/13	咽頭拭い液 糞便	コクサッキーウイルスB5型
その他の消化器疾患	腹痛	3	不詳	2016/07/21	咽頭拭い液 糞便	アデノウイルス3型
その他の疾患	発熱(39.0)	0	不詳	2016/08/15	咽頭拭い液 糞便	コクサッキーウイルスA9型

* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載

【参考】広島市におけるマイコプラズマ肺炎の流行状況

マイコプラズマ肺炎の流行状況



定点当たり0.57人の報告があり、例年同時期と比べて多い状態が続いています。

マイコプラズマ肺炎は、「肺炎マイコプラズマ」という細菌に感染することによって起こる呼吸器感染症で、発熱と長引く咳が特徴です。

全国的にも報告数が増加していますので、手洗いや咳エチケットなど感染予防対策を心がけましょう。

本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。なお、感染症情報の詳細についてはホームページでご覧いただけます。

URL <http://www.city.hiroshima.lg.jp/eiken/center.html>

【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号
TEL (082) 277-6575 FAX (082) 277-5666 E-Mail ei-seikatsu@city.hiroshima.lg.jp

2016年第38週(9月19日~9月25日)